

「嬉野総合運動公園の利活用に向けたサウンディング調査」
結果概要

嬉野総合運動公園のさらなる利用促進を図るため、民間事業者等の皆様との「対話」を通じて、新たな利活用に関する事業手法や民間事業者の皆様が担える役割等についての考えを広くお聞きするためにサウンディング調査を実施しました。

本調査の結果を取りまとめましたので、その概要を公表します。

1. 実施概要

(1) 事前説明会

開催日：令和元年7月29日（月） 13時30分～15時00分

参加者：3者

(1) 個別対話（サウンディング）

期 間：令和元年8月26日～9月27日

参加者：4者

2. 個別対話の内容

(1) 事業提案の内容

- ・ 宿泊施設の整備（キャンプ、合宿）
- ・ 公園内にキャンプができるスペースを確保
- ・ 大型イベントの誘致（野外ライブ、フェスなど）
- ・ 嬉野総合運動公園の指定管理者と連携したスポーツイベントの開催
- ・ 自然を活用したアドベンチャー施設の導入
- ・ フィットネス事業の導入
- ・ 温泉観光客の利用誘発を促すような大規模花修景の導入
- ・ 観光的魅力とまちの賑わいをつくるイルミネーションの導入
- ・ みゆき球場の稼働率向上のための人工芝の導入
- ・ 中高齢の健康づくりのための運動教室の開催
- ・ こどもの運動を通じた体づくり事業の導入
- ・ スポーツ振興特区の創設

(2) 施設や地域への効果、貢献の考え方

- ・ 宿泊施設を整備することによる合宿誘致の実現
- ・ 嬉野のさらなる観光客の増加
- ・ 公園利用者の滞在時間の延長
- ・ 施設整備にかかる維持・管理費の縮減
- ・ スポーツによるまちづくりの推進
- ・ イベント開催による集客増
- ・ 年間を通じた公園利用者の増加

3. 今後の予定

民間事業者の皆様からいただいたご意見を参考に、嬉野総合運動公園の整備・利活用等について、今後の事業展開に向けた検討を行い官民連携の手法により進めます。